



江戸時代とは様変わりした風景



江戸時代から受け継がれる蚕霊神社の祭礼



蚕霊山 千手院 星福寺

欽明帝13年開基。星福寺山門の脇には「金色姫伝説」を伝える石板があり、「縁起によれば桑の宇津魚舟が塩路常陸なる豊良浦に漂流。時に欽明帝十三年(584)」と記されている。また、^{ますだこうじ}舩田高順住職によると「養蚕の祈願所として江戸時代の初めに大本堂を建立し、参詣の人々で埋め尽くされた」といわれている。



蚕霊尊のお札を刷るための版木



蚕霊尊を模して作られた高さ約20cmの像

り物に乗る異界からの訪問者」の語が出現したのか。これらの謎は、世界中の人々の好奇心を刺激して止みません」

ミステリーの舞台は、今

さて、うつろ舟ミステリーの舞台である舎利浜に立ったとき、田中さんはどのように感じたのでしょうか。「兎園小説を読んだ私の頭の中には、——青い松林、広く白い砂浜、沖まで続く遠浅の青い海……。沖に見える奇妙な舟に向かって小舟を引き出す漁民の、あれは何だ？」という声——というアニメ映画のような情景が浮かびました。しかし舎利浜で見たのは、遠くに望む鹿島臨海工

業地帯のコンビナートなど、思っていた情景とは少し違いました。しかし、はるか沖を眺めると柳田国男が言う『常陸の濱には今も昔も、此種の不思議を談ずる気風が旺盛であったらしい』の雰囲気を実感しました」
確かに今では、砂浜を守るヘッドランドが建設され、視界の先に風力発電の巨大風車が見え、当然ながら江戸時代とは様変わりしています。そんな私たちが見慣れた舎利浜の風景に、うつろ舟奇談を重ねて眺めてみると、いつもと違う気持ちになるかもしれません。
一方、江戸時代から受け継がれているものもあります。それは、蚕霊神社の西祭です。明治時代の神仏分離ま

で蚕霊神社と星福寺は一体であり、西祭は明治末期まで3日間盛大に行なわれていました。現在でも地域住民によって大切に受け継がれ、11月最初の西の日に行なわれています。
最後に田中さんから神栖市の皆さんへのメッセージをいただきました。「常陸国うつろ舟奇談は、世界的にもユニークな神栖市の民俗資産であることは間違いありません。この奇談には、想像し、推理する楽しさがあります。いろいろな可能性を考えながら、蚕霊神社や星福寺を巡り、舎利浜でUFOや金色姫伝説に思いをはせて、ミステリーを解くアイデアを考えてみてはいかがでしょうかでしょう！」



「伴家文書」(川上仁一氏所蔵、写真提供:田中嘉津夫氏)の発見で、うつろ舟の漂着地が舎利浜である可能性が高まった



舎利浜

「どちらの衣装も、前帯の二段蝶結びが同じだと気がついたので。2つの女性像が『うつろ舟』という同じキーワードを持ち、珍しい前帯デザインまで一致するのは偶然ではあり得ないと思いました」
他にも、目の形がお多福のような三日月形をしていること、頭に鷹らしい飾りがついていることなど、いくつかの共通点が見つかりました。「うつろ舟奇談と金色姫伝説の関連を示唆する学術的価値のある発見は初めてであり、興奮しました。これは、茨城県の郷土史家・故佐藤次男さんの仮説の正しさを示すものでもあります」

漂着地が舎利浜と判明!

その後、不思議なほど『常陸国うつろ舟奇談』に関する新史料の発見が相次ぎます。その中で私たちに関わりが深いのは、2014年に発見された『伴家文書』です。
「兎園小説に書かれているうつろ舟の漂着地『はらやどり』という浜は一体どこなのか、長年にわたって郷土史家やUFOファンが熱心に探しましたが見つかりませんでした。架空の地名と考えられていたのに、伴

家文書に漂着地が『常陸原舎り濱』と記されているのを見つけて驚きました。実在する地名なら、周辺の郷土史を調べて奇談の謎の解明に迫ることができそうです」
常陸原舎り濱は伊能忠敬の地図でも確認でき、現在の波崎地区の舎利浜にあたります。波崎町史によると、舎利浜に人が定住するようになったのは地引網漁が発展する1872年(明治5年)とされており、江戸時代には住む人はなく砂丘が広がっていたようです。
「これまで舎利浜、星福寺、蚕霊神社には8回ほど調査やテレビ番組の取材で訪れています。最近では、2022年の夏に米国の動画配信サービスNetflix※のUFO番組のため、舎利浜での取材に参加しました」
2019年には田中さんの著書の英語版が出版され、うつろ舟奇談は海外でも知られるようになってい



Netflixの取材班と田中さん

大胆な仮説と最大の謎

田中さんは、『伴家文書』に加え『新古雑記』『異聞雑記』をオリジナルに近い伝説が記された初期3文書と分類し、「それらに共通する女性の描写は、成長する蚕を表しているのではないかと」と、大胆な仮説を立てました。例えば、青白い顔の蚕の幼虫の色、赤黒い眉と髪、さなぎの色、白くて細い歯、繭の色と表面模様、白いベール、生糸、といった具合です。うつろ舟の謎の女性が蚕の化身であるならば、ますます金色姫伝説との関連が強くなります。

このように新史料の発見によって研究は進んでいます。ただ、まだ多くの謎が残っていると田中さんは言います。

「最大の謎は、現代のUFOを知らないはずの江戸時代の人々が、どうしてUFOによく似たうつろ舟の絵が描けたのか。なぜ、奇談を伝える文書がこんなにも数多く残っているのか。何らかの事件が実際にあったのではないかと。そして、20世紀の米国、江戸時代の日本という時間も場所も文化も遠く隔たったところで、どうして同じようなUFO型の乗

※NetflixはNetflix,inc.の登録商標です